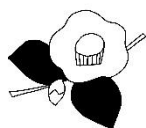


71期生

1年生学年だより

豊中市立第五中学校 2023年1月27日(金) No.27



いのちの大切さを考える授業



『生命の尊さ』についての講演を聞きました。

1月26日(木)



2023年 今年の私のテーマはこれ!!

～漢字一文字抱負～



今年1年の自分のテーマを漢字一文字で表現してもらいました。なぜその漢字を選んだのかの理由も書いてもらいました。じっくり考えている人もいれば、すぐに決めた人もいましたね。それぞれ自分にふさわしい漢字を選んでいただいているように思います。どの漢字もみんなの意気込みがひしひしと伝わってくる漢字ばかりです。自分が選んだ漢字の目標が達成できるように1日1日を大事に過ごしていきましょう。



みんな真剣です!



『いのち』の大切さについてのお話を誕生学の専門家である澤田貴美子先生よりお話を聞きました。小学校の時に同じような話を聞いたことがあった人も、その時はどこか他人事のように思っていたと思いますが、今回は自分事としてとらえてしっかり聞いていたと思います。みんなの感想を一部ですが紹介します。

<生徒の感想>より ※一部抜粋

○自分が産まれてきたときに、澤田さんが何度も言っていたのが、「みんな嬉しいんだよ」です。映像を見たときも、泣いて嬉しがっている方、安心できるように包み込んでいるお母さんなどがいて感動しました。自分もこんなに嬉しがってもらっていて、産まれてきて良かったと思いました。

○私たちがどのように産まれて、どのように育てられたかよくわかりました。私たちはお母さん、お父さんから命を授かり、今、中学生になるまでの間、愛情たっぷりで育ててくれ、一度も死なせなかったことに改めて感謝の気持ちを込みあがらせてくれるような講演でした。

○赤ちゃんが産まれるビデオを見て、お母さんも頑張ってくれていたし、赤ちゃんも頑張って産まれてこうとする様子はとても感動的で私もお母さんもそうだったと考えると泣きそうになりました。

○私は大人になったら子どもがほしいけど、妊娠したら陣痛とかで色々辛いし、女性は生理とかあって辛いのに、男性は全く辛さを分かってくれません。男性も色々辛いと思うけど、お互いに辛いから一緒に分かちあえたらいいなと思いました。街中でよく妊婦さんとか見かけたりするんですけど、本当に尊敬します。陣痛の辛さは分からないから何とも言えないけど、いつか分かるようになりたいです。私は帝王切開で産まれてきました。私を産んでくれたお母さんを尊敬しています。私も子供を産んで尊敬されるようなお母さんになりたいです。

